

【様式1】

団体名 与那原町教育委員会	連絡先 TEL : 9 4 5 - 2 3 6 1 Eメール : yo. syuji@town. yonabaru. okinawa. jp
-----------------------------	---

1 はじめに

本町の各幼稚園、小学校、中学校においては、これまで各園長、校長のリーダーシップの下、様々な教育活動に取り組んでおり、多くの成果を上げている。しかしながら、それらの実践は校種間を越えて、共有されているとはいえない状況がある。また幼児教育、小学校教育、中学校教育の理解についても十分とはいえない。

そこで、町内教職員が各園、学校の教育活動の理解を深め、一貫した教育を推進するために保幼小連携及び小中連携体制の構築が必要であり、その体制を構築し運営することは教育委員会の役割であると考えている。

2 実践内容（保幼小連携及び小中連携体制の構築）

（1）保幼小連携体制の構築

本町においてはこれまで各小学校区において、小学校と隣接する幼稚園の園児と児童の交流や教職員の交流などが行われていたが、町全体としての体制は構築されていなかった。また本町立幼稚園と保育園及び認定こども園の連携も不十分であった。

これらの現状を踏まえ、「令和4年度与那原町保幼小連携計画」を立案した。目的は「相互に幼児教育と小学校教育に関する理解を深め、連続性のある教育を推進することで、子どもたちの不安や負担の軽減及び円滑な接続に資する」である。

具体的な取組としては①保幼小連絡会、②保幼小職員による小学校の授業参観、③小学校職員による保育参観、④園児と児童の交流会、⑤合同研修会などを実施する予定である。

（2）小中連携体制の構築

本町の小中学校においては、それぞれの学校で特色のある教育活動が実践されており、様々な成果を上げている。しかしながらそれらの取組について、校種間の連携が足りず、町内での情報共有が不十分であった。一方で学力面や不登校、特別支援教育、問題行動等様々な課題を抱えている。特にそれらの課題は中学校において顕著に表れており、小学校から中学校へ進学する際の隔たり、いわゆる「中1ギャップ」が原因の一つではないかと考えている。

それらの課題を解決する手立ての一つとして「令和4年度与那原町小中連携計画」を立案した。目的は「相互に小学校教育と中学校教育に関する理解を深め、連続性のある教育を推進することで、子どもたちの不安や負担の軽減及び円滑な接続に資する」である。

具体的な取組として①与那原町授業スタンダードの作成、②小中の相互授業参観及び小中の授業参観の実施、③生徒指導連絡会等の既存会議の工夫などを実施する予定である。

3 成果と課題

（1）成果

各学校の校長及び教頭、担当者と各種連絡会等で保幼小連携及び小中連携について意見交換をし、合意形成を図った上で、連携計画を立案することができた。

（2）課題

連携を推進していく上で「相互授業参観や研修等の時間確保」や「教職員の負担感の軽減」等の課題が考えられる。これらは次年度、実践しながら改善していきたい。